

2024年4月8日

東急不動産ホールディングス株式会社  
東急不動産株式会社

## 世界の地域の組織や企業がSDGsに向けた取り組みや成果を共有する

## 「国連グローバル・コンパクト ALNF 2024」

## ～当社役員が気候変動対策について国連グローバル・コンパクトトップと会談～

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、このたび日本で開催された「国連グローバル・コンパクト Annual Local Network Forum 2024」（以下、「本カンファレンス」）併催のハイレベル・ミーティングに招かれ、当社のサステナビリティ推進を所管する役員が気候変動対策およびジェンダー・ダイバーシティについて国連グローバル・コンパクトトップと会談しましたのでお知らせいたします。



左：国連事務次長補・国連グローバル・コンパクト事務局長兼 CEO のサンダ・オジャンボ氏

右：当社グループ経営企画部・グループサステナビリティ推進部・グループDX推進部担当執行役員 山根英嗣  
(担当部署は2024年3月時点)

当社は2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を策定し、「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」を全社方針の一つとして取り組んでいます。中核企業である東急不動産株式会社では「環境先進企業」を目指した取り組みを積極化しており、2022年末には事業所及び保有施設※の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了しています（※一部の共同事業案件などを除く）。ハイレベル・ミーティングでは、当社グループが展開する再生可能エネルギー事業をはじめとした脱炭素社会への経営方針や事業活動、および「広域渋谷圏」※1などでのネイチャーポジティブへの貢献を発信したTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の取り組みなど環境先進のまちづくりを紹介し、国連グローバル・コンパクト（以下、「国連GC」（国連Global Compact））※2 トップやハイレベル・ミーティングご参加の国連GC幹部などから高い関心が示されました。

国連 GC は、国連と民間が連携して取り組むサステナビリティ（環境、人権、労働、腐敗防止等）に関わる世界最大のイニシアチブで、2000年にニューヨーク国連本部で発足し、約167か国、24,000を超える企業・団体が加盟しており、世界69か国にローカル・ネットワークがあります。本カンファレンスは国連 GC 本部および各国ローカル・ネットワークが世界の中から会場都市を選び、年1度集まり、地域の持続可能なビジネス実践やイノベーションについての情報共有やネットワーキングを行ない、地域の組織や企業がSDGs（「国連の持続可能な開発目標」）に向けた取り組みや成果の発信・共有や、ベストプラクティスを学ぶ機会とするものです。2024年は日本のローカル・ネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」（以下、「GCNJ」（Global Compact Network Japan））<sup>※3</sup>がホストとなり、国連大学ビル（東京都渋谷区）を中心に様々なミーティングやセッションが開催され、国連 GC のほか世界59か国のローカルネットワークから153名の方が来日しました。

国連 GC の署名企業である当社と東急株式会社は、両社が重点地域と定める東京・渋谷にて本カンファレンスが開催されることから、全面的にバックアップすると同時に各イベントに積極的に参加し、東京・渋谷の魅力を世界へ発信するとともに、その成功をサポートいたしました。

※1 広域渋谷圏とは、東急不動産株式会社（以下「東急不動産」）と東急株式会社とが、渋谷まちづくり戦略「Greater SHIBUYA 2.0」において定めた、渋谷駅から半径2.5kmのエリアを指す。

※2 国連 GC とは、国連と民間が連携して取り組むサステナビリティ（人権、労働、環境、腐敗防止）に関わる世界最大のイニシアチブ。1999年にコフィ・アナン国連事務総長（当時）がダボス会議で提唱、2000年に正式に発足。

※3 GCNJ とは、国連 GC の、日本におけるローカル・ネットワークであり、国内600企業・団体（2024年3月現在）が加盟している。国連 GC に加盟すると、自動的にGCNJにも加盟する。



### ■国連 GC トップ・幹部ならびに日本企業経営層とのハイレベル・ミーティング

・ 日時：2024年3月18日(月) 16:00～18:00 場所：国連大学エリザベス・ローズ国際会議場

このミーティングは、「ALNF2024 High Level Meeting」（以下、「ミーティング」）と題し、国連事務次長補・国連グローバル・コンパクト事務局長兼 CEO のサンダ・オジャンボ氏、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事の有馬利男氏及び当社を含む日本企業12社のトップ層が出席し、気候変動対策とジェンダー・ダイバーシティについて討議しました。

当社からは、山根執行役員が参加し、東急不動産が取り組む再生可能エネルギー事業や広域渋谷圏での生物多様性の取り組みについて紹介いたしました。

サンダ・オジャンボ氏は、国連は今世紀末の世界の平均気温上昇を産業革命以前と比較して1.5°C以内に抑えることを目標に掲げているが厳しい状況であると危機感を表したうえで、日本企業の意欲的な活動に賛意を示され、さらに様々な国や地域とコラボレーションすることでその活動を加速させることを期待されました。



一番左がサンダ・オジャンボ氏



当社執行役員 山根英嗣



ハイレベル・ミーティングの会場での様子



当社取り組みの紹介

### ■ 国連 GC 本部事務局および各国ローカル事務局メンバーと日本加盟企業担当者とのセッション

- 日時：2024年3月19日(火) 17:00~20:00 場所：国連大学ウ・タント国際会議場およびレセプション・ホール



フォーラムの様子



このセッションは「GCNJ フォーラム&ミキサー」と題し、フォーラムは国連大学ウ・タント国際会議場にて、欧州のローカル・ネットワーク事務局長による「欧州の規制環境と企業の対応」の解説や、アジアのローカルネットワーク事務局による環境規制への対応やビジネスの紹介、国連 GC 本部の教育プログラムやその活用についての紹介があり、ミキサーはレセプション・ホールにて、国連 GC 本部幹部/職員および各国ローカルネットワーク職員約 50 名と GCNJ 加盟企業約 100 名が、直接コミュニケーションをとる機会となる交流会が開催されました。当社からもサステナビリティ担当者 2 名が参加、積極的に情報収集・交換を行いました。

### ■世界中からの参加者を東急プラザ渋谷で“渋谷らしさ”のおもてなし

・ 日時：2024 年 3 月 21 日(木) 20:00~22:00

場所：東急プラザ渋谷 5 階「CLUB THE PEPPER」(東京都渋谷区)

国連 GC 本部幹部/職員および各国ローカルネットワーク職員の 100 名を超える方が、当社グループの施設である東急プラザ渋谷にある「CLUB THE PEPPER」に集まりました。

「CLUB THE PEPPER」とは、日本が誇るカルチャー、テクノロジー、グルメが融合し、人とロボットが共に働く世界的にもユニークなクラブです。「Night Party @ CLUB THE PEPPER」と題したパーティーでは、AI を搭載した最先端ロボットによるダンスショーのほか、尺八やけん玉の実演や寿司・ラーメン・すき焼きといった日本食を提供するなど、新旧の日本文化と食に触れる機会を設けました。



人気ロボット“Pepper”のダンスショーが始まると参加者は一斉に立ち上がって写真を撮り、パーティーの最中にも SNS 上に写真が飛び交っていました。パーティーが進むにつれ、音楽に合わせて踊り始める人もいて、渋谷の夜を楽しんでいただく 2 時間となりました。



Night Party @ CLUB THE PEPPER での様子

[東急プラザ渋谷 | 東急プラザ \(tokyu-plaza.com\)](https://tokyu-plaza.com)

## ■広域渋谷圏の当社グループ施設を通じて、サステナブルな都市「渋谷」を体感する視察ツアーを開催

・ 日時：2024年3月22日(金) 13:00~18:00

日本を訪問された各国の職員に対して、日本の加盟企業の業務を実際に見学する視察会「フィールド・トリップ」が開催されました。当社は「大都市で考える生物多様性と持続可能な生産と消費」と題した視察ツアーを開催しました。当日は、30名の参加者と共に、初めに東急プラザ表参道原宿（東京都渋谷区）の屋上にある「おもはらの森」をご案内しました。「おもはらの森」は都心では貴重な大規模緑地である明治神宮や代々木公園の至近に立地することから、そこに住む生き物たちの中継拠点を担うことで、広域渋谷圏でのエコロジカルネットワーク形成に取り組んでいることを説明し、都心商業ビルにおける生物多様性への取り組みに理解を深めていただきました。また、東急不動産が3月に開始した「いきもの東急不動産プロジェクト」に合わせて新たに設置した9種類の巣箱について説明すると、メゾネットタイプの巣箱（親鳥とヒナの場所をそれぞれ確保した設計）などを興味深く見上げていました。



東急プラザ表参道原宿 屋上「おもはらの森」でのレクチャーの様子

次に、代官山駅前に昨年10月開業した「フォレストゲート代官山」（東京都渋谷区）へ移動し、サーキュラーエコノミー（資源循環）などの取り組みをご覧いただきました。この施設の特徴として、賃貸住宅での環境に配慮した豊かな新しいライフスタイルの提案、環境、食を通じた循環型サイクルの実践への取り組みが上げられます。賃貸住宅全てのベランダに植栽をほどこし、環境に配慮した豊かな新しい生活の提案、そして、「TENOKA 棟」では当社グループで森林保全を行っている岡山県西栗倉村（にしあわくらそん）の間伐材の利用、施設のカフェで食を通じたサーキュラーエコノミー活動を展開するなど、代官山を訪れる、感度の高い方々を意識した取り組みを展開しています。





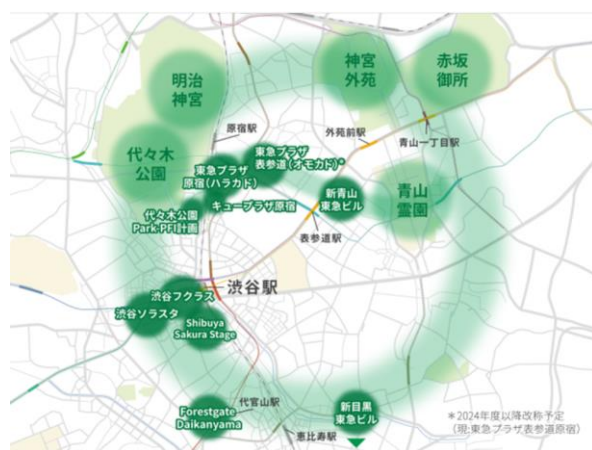
フォレストゲート代官山（左：外観、右：TENOHA 棟内でのレクチャーの様子）

最後に、渋谷フクラス（東京都渋谷区）のルーフトップガーデン「SHIBU NIWA（しぶにわ）」に移動し、渋谷駅周辺の再開発をご覧いただきました。当社グループでは、それぞれのプロジェクトや施設において緑化に工夫をこらし、グリーンの魅力を活用して、豊かさ、心地よさといったまちづくりでの新しい価値創造に挑戦し続けています。

そして、建物の緑化は、エコロジカルネットワークを創出します。渋谷を緑でつなぐことで、都市での「住む」「働く」「過ごす」すべてのシーンに、自然を身近に感じることができる、魅力あるまちづくりを進めています。参加していただいた方からは、そういった取り組みに非常に高い関心を示していただきました。今後も、当社は、グリーンので、渋谷のまちの魅力を更に高め、世界に発信して参ります。



生物モニタリングの様子



エコロジカルネットワーク

※各施設の詳細は、下記リンク先をご覧ください。

[東急プラザ表参道原宿 | 東急プラザ \(tokyu-plaza.com\)](https://tokyu-plaza.com)

[Forestgate フォレストゲート 代官山 \(forestgate-daikanyama.jp\)](https://forestgate-daikanyama.jp)

[渋谷フクラス \(shibuya-fukuras.jp\)](https://shibuya-fukuras.jp)

### ■宿泊用ホテルの優先予約受付

本カンファレンスのメイン会場となる国連大学ビル（東京都渋谷区）の徒歩圏に、当社グループの東急リゾート&ステイ株式会社は3つの都市型ホテル（「東急ステイ青山プレミア」「東急ステイ渋谷」「東急ステイ渋谷 新南口」）を運営していることから、各国から来日される職員の宿泊場所として、優先予約の受付に協力し、滞在中のサポートをさせて頂きました。東急ステイには、Wi-Fiが整っているほか客室内に洗濯乾燥機やミニキッチンが設置されていて、今回のような一週間に及ぶ滞在にはとても適しているとご好評をいただきました。

[東急ステイ【公式】 | 洗濯乾燥機付きの客室がある滞在型ホテル \(tokyustay.co.jp\)](https://tokyustay.co.jp)

### ■当社における国連グローバル・コンパクトでの取り組み

当社グループは1998年に環境基本理念を策定し、2011年に環境ビジョンに改定、地球環境保全への取り組みを進めています。2015年にSDGsが国連総会で採択されたことから、翌2016年に国連GCとGCNJに加盟しました。これまでGCNJが主催するESG分科会（ESG評価に関する勉強会）やレポーティング研究分科会（サステナビリティ情報開示に関する研究会）に参加するなど、積極的にその活動に関わり、情報収集と同時に企業間の情報交換による日本企業全体のレベル向上に取り組んできました。国連GCが掲げるSDGsの2030年目標の達成に向けて、これからも事業を通じて活動してまいります。

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>